



JaGra 第60回 定時総会 および 第67回 文化展式典 が盛大に開催されました



懇親会で近畿勢



大阪大会PR

去る6月21日（土）、全国のジャグリストが一堂に集う全国大会が東京の地で盛大に開催されました。開催テーマは「印刷復活！」。何も印刷業界に限ったことではありませんが、時代の変化に晒されて厳しい環境に置かれていると言われて久しいこの業界。しかし情報発信そのものは手段は変われど社会からのニーズは変わらず、むしろその使命は多角化しつつ多岐にわたり社会に根付いていると言えます。そのような現況を鑑み、これまで主に紙の印刷事業で培ってきた私たちのノウハウに新たな付加価値を加えるべく様々な取り組みをジャグラ主体で行ってゆこうという全体を通したメッセージでした。

会場は浅草ビューホテルという観光名所浅草の歴史や文化を漏れなく体験できるパノラマ型宿泊施設で開催されました。インバウンドで国際都市の名声が高まるとともに高まった東京において、江戸情緒がしっかりと残る観光資源を堪能しつつ、私たちの未来

を創る最高のステージとなりました。前日のゴルフや前夜祭から徐々にボルテージが上がってゆき、大会懇親会で盛り上がり最高潮に達する仕掛けが随所にちりばめられ、東京の実行委員の皆さまには感謝の思いでいっぱいです。

総会と文化式典も盛り上がりつつ所要所はそつなく段取り良く進行し、一部支出面で事業内容に関する疑義が出ましたが、むしろ積極的に事業運営をジャグラ全体で行っている証左が共有されることとなりました。

ジャグラコンバクトDX委員会のセミナー形式での座学会では、JaGraが独自に開発した地域貢献に資するシステム「ジャグラコンパス」やMISを活用した小規模印刷会社の成功事例がますますことなく披露され、活発な討議が行われていました。

他の団体に比べてジャグラは楽しく有意義だという話があります。賛否あるでしょうが、一つ言えるのはジャグラメンバーは仕事にしてもプライベートにしても胸襟を開いて本音で話す人が多いことは間違いのないと思います。組合活動を社業に活かすことに貪欲です。新しいコミュニケーションに参加すると重鎮と取り巻きが淡々粛々と決まったルーチンを繰り返しているという風景を見ることがあります。ひたすら前例を踏襲し、形式を重んじる。何か異なることを言えば、永遠に保留と先送りとなる。それが快適に感じる人も多いと思いますが、つまらないと感じる人がジャグラに嵌まっているようにも見えます。一長一短あるにせよ、時代の変化に柔軟かつ強かに適応するためには



総会



総会の壇上

時には前例の殻を破ることも必要なのは、会社経営でも当てはまると言えるでしょう。せっかくOGSに加盟してくれているに関わらず、OGSローカルの忘年会等の一部の行事しかご参加いただいていない方が多くいらっしゃると思います。とてももったいないと思うのは、OGSも含む全国のジャグラメンバーの中にはこの厳しいと言われる印刷業界において「うちまた最高益更新だよ」「売上今15億だよ3年で3億伸ばしたよ」といったツワモノが少なからずいて、そのツワモノたちやそのスタッフと至近距離で交流できたり気軽に会社を見に行ったり活きた情報交換ができる機会が、かなり多く得られるにもかかわらず、その機会を損失しているからです。

来年の全国大会が大阪開催ということもあり、OGSでは今後組合員の皆様に全国メンバーとの交流をもってもらおうと企画しております。引き続きご支援よろしくお願ひ申し上げます。

（OGS 副理事長 木原庸裕（株遊文舎）

5月17日に平成会会長に選出された宇野伸弥さん(㈱研美社)。そして宇野会長を支えるべく、月岡達也さん(旭紙工㈱)が副会長に任命されています。この2人に加え直前会長の青木英城さん(イセン印刷㈱)にも参加していただき、木原庸裕 副理事長がファシリテーターを務めて話を聞きました。なお、小幡利之理事長はオンラインで参加し、私 田治も同席しました。(OGS理事 田治宏敬 尼崎印刷㈱)



全国大会を見据えて

組織活性化に横断的に取り組もう

木原副理事長

宇野新会長、ご就任おめでとうございます！青木前平成会長、お疲れ様でした。青木さんは会長を何期何年勤められたんですかね？

青木直前会長

2期2年でしたね。コロナも明けて第5類になったところだったので、会食とかもやっていたという状況ではあったのですが、どこまでやろうか手探り状態で1年があつという間に過ぎました。2期目はもうご存知のように、あの10月のSPACE21全国協議会大阪大会がありました、それをいかに成功裡に持っていくかが大きかったかなと思います。

木原

あなた自身、この2年間



青木直前会長(イセン印刷㈱)

で成し遂げたいと取り組んだところ、それに対してどの程度成し遂げられましたか？

青木

会員数は絶対減らしたくないと考えており、退会された方もおられる一方、実際に新しく来ていただいた方もおられ、会員拡大という意識を常に持ちながら取り組めたかなと思います。大阪大会はやって良かったと本当に思います。活動していくうちに、いろんなところとつながりができて、良かったです。会員数は就任当初32社(者)のところ、34に増えました。

木原

それはさすがですね。その前会長の思いを引き継がれて、宇野さんが新会長に就任されました。宇野さんはどういった思いを平成会へは業界全体に対して取り組みたいこと、抱負を語ってもらえますか？

宇野新会長

青木前会長が会員拡大に頑張っておられたというのは、僕も副会長として一緒に活動していて感じておりました。そして、私のように経営者ではない一般社員の方もたくさん参



宇野新会長(㈱研美社)

加してもらえような会にしたいと思っています。会員数が増えることよりも、まずそういった方々もたくさん平成会行事に参加してくれるというのが第一に考えています。どこの地域・業界も会員数が減ってきているでしょうけれども、そうはならない平成会を頑張つて作ってゆきたいと思っています。じゃあ、なぜ行事に人がたくさん集まらないのかなと考えた時に、僕なりに答えを出したのが、学びのコンテンツが少ないのではないかと考えたのです。遊びも大事、懇親も大事なんですけれども、学びという原点をしっかり持ったコンテンツを用意してゆきたいと考えています。

木原 方針としては「学びのコンテンツ」の確立、平成会の原点回帰ですね。さて、宇野さんはいわゆる経営者ではなくスタッフの立場で平成会会長を引き受けていただきました。業務との兼ね合いとか、経営者ではない立場での青年部をけん引するとか、そのあたりについて思うところはありますか？

宇野

僕みたいな一従業員が平成会を引っ張つてゆくという立場に就けさせてもらっているのはすごくありがたいと思います。私が入会した8、9年前の当時から、社長さんの思考プロセスとか、社長つてどう考えるのかというところを学ばせてもらつて、自分の収入や役職も向上できてきました。そういう意味で平成会に恩義があり、恩返しをしたいなという思いはすごく強かったです。昨年末に幹事メンバーから「会長を次、お前やれっ！」と言われた時、僕の中ではあまり迷いはありませんでした。やつてゆこうと思いま

木原

平成会に対する恩返し、つまりあなた自身も成長させてもらったのです。副会長を引き受けてくださった月岡さん、宇野さんと同じくスタッフの立場ですね。同じ質問になりますが、平成会に対する思い、感じられて

新体制 発足

親会と青年部二人三脚で歩を進めよう

平成会 & OGS 座談会 未来を語る

其の壱



月岡新副会長(旭紙工株)

いる課題、今後副会長として取り組んでゆきたいところ、スタッフの立場で青年部のかじ取りをしてゆくことにあたって思うところを聞かせてもらえますか？

月岡新副会長 宇野会長から副会長の打診があつて、その熱い思い、熱いお話をうかがつて支えなあかんなと思いました。平成会に何かしていくということまで考えていなかったのですけれども、宇野会長が頑張つてくれる姿を見て、一緒に支えてゆきたい、できることをやってあげたいと思います。活動方針については会長が申していますので、それに沿つて補佐して、平成会がもつとより良い場所になつてくれたらと思つてやっています。

木原 より良い場所というのは、あなたにとって具体的にどんな場所になりますか？

月岡 学びももちろん大事ですが、けれども、ヨコのつながりも大事だと思っています。僕は(旭紙工の)社長から平成会に行つてこいと言われて、本当に経営者の

方ばかりといろんなお話をしていた中で、自分が全然知らなかったことかを聞けるようになりしました。1人のスタッフでありながら、そういう外の世界の話を聞ける場所というのはすごくいい場所だと思います。その感じを他の人にも味わつていただけたらな、と。井の中の蛙じゃないけれど、会社の中にいたらスタッフはそこしか見えていないので、こういう機会はすごく良いと思います。そういう場面を増やして、色んな人がそんな経験をできたらいいなと思います。

木原 小幡さん、今の3人、これからOGSと一緒に活動してゆく青年部の人たちのお話を聞かれて、理事長として思われたこととか感想をいただけますか？

小幡理事長 アドバイスすることなんて本当にないぐらい皆さんしつかりしていると思います。普通と逆で、「出る杭」をどんどん引つ張り上げてね、若い宇野会長がOGSを引っ張つていてほしいと思つています。やっぱり歳をとればとるほど守りに入るもので、経営もそうなんです。何でも攻めていけるというのが若い人たちの特権であり武器なので、この業界全体を引っ張つていってくれるのが平成会。OGSはどちらかと言うと、会社も組合活動もどうやって守つ

ていこうかと考えながらやっている中で、逆に平成会がOGSを「こういうことをしましよー」と引つ張つてくれたらお互いに発展してゆくのではないのでしょうか。来年の大阪大会も平成会の協力なしでは成功できないと考えています。

木原 経営者の思考のプロセスというものを目の当たりにして、非常に勉強になったということでしたが、具体例を2、3お伺いしてもいいですか。

宇野 これは経営者だけではないかもしれないですけども、「当たり前前」のことを当たり前前につめていく、しつかり立ち止まつて周りを見ながら物ごとを進めていくというところでしょうか。僕たち従業員はその日の業務に追われていると、どんなに勘定で、えいやつて、という考え方に陥りがちです。しかし経営者さんらは忙しくて、「これはどうなんだ？」とリスクをしつかり考えながら前に進めていく姿勢があるようです。あと、特に昨年のSPACE-21大阪大会で感じたのが、「このタイミングで仕掛けないといけない、やらないといけない」という時に、みんながすごいパワーで一気に向かつていきました。そういう巻き込む力、青木前会長の力量を学ばせていただきました。

木原 SPACE-21大阪大会の

宇野新体制での

平成会行事予定

会員企業数や会員数の拡大について具体的な目標設定はございませんが、現会員各社の幹部社員さんが積極的に参加したくなる・させたいような平成会にしたいと考えております。その為にやるべき事としては、【参加しやすい場作り】に加え【コンテンツの充実】や【会の活動が伝わるような広報活動】等を考えています。

7月19日(土)	愛青会コラボ企画 味覚狩り(ぶどう) in 愛知岡崎
8月30(土)	大家さん所有の施設で遊ぶ in 和歌山
9月	ソニー生命による決算書を学ぶセミナー
10月	SPACE-21全国協議会 in 茨城土浦

その他、定期的に会員訪問・見学を検討中！

当日の結束力はすごいなと思つて感心して見ていましたよ。あの時の平成会のパワーはOGSも見習うべきじゃないかな。

(四面へ続く)

7月の活動予定

状況により中止・変更の可能性もあります

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	！総会・文化典・記念式典・懇親会等は20日(土)！
7	月	2026年 6月19日(金)～22日(月)
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	OGS 役員会 18時 JP ビル 8 階会議室

ジャグラ文化典 近畿・大阪大会

！総会・文化典・記念式典・懇親会等は20日(土)！
2026年 6月19日(金)～22日(月)

16	水	
17	木	
18	金	
19	土	8月以降の予定
20	日	8月19日(火) OGS 役員会 18時 JP ビル 8 階会議室
21	月	23日(土) 高野山法要
22	火	29日(金) 近畿地協 大阪担当行事(幹事会・勉強会等)
23	水	9月3日(水) 印関協 本木祭(四天王寺)
24	木	26日(金) 平成会セミナー(決算書読解)
25	金	2026年
26	土	1月15日(木) OGS 新年互礼会 ウェスティンホテル大阪
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

8月以降の予定

8月19日(火) OGS 役員会 18時 JP ビル 8 階会議室
23日(土) 高野山法要
29日(金) 近畿地協 大阪担当行事(幹事会・勉強会等)
9月3日(水) 印関協 本木祭(四天王寺)
26日(金) 平成会セミナー(決算書読解)
2026年
1月15日(木) OGS 新年互礼会 ウェスティンホテル大阪

ジャグラ神奈川60周年記念祝賀会(ロイヤルホールヨコハマ)

役員会報告

日 時：2025年6月24日(火) 18:00より
場 所：JP ビル 8 階会議室(一部リモート参加)
出席者：小幡理事長、岡副理事長、木原副理事長、佐藤専務理事、田治理事、田中理事、東條理事、中田理事、宗次理事 オブザーバー：平成会 青木前会長
報告事項 その他

【ジャグラ本部】

- ・東京大会報告展

【近畿地協】

- ・8月29日(金) 地協幹事会・勉強会等(大阪担当)
- ・地域活性化委員会のセミナー(ジャグラコンパス利用)で調整中

【OGS】

- ・2026年のOGS 総会開催方法について
- ・今後の役員会日程について

【2026ジャグラ近畿・大阪大会】

- ・役員派遣方法について、会場選定その他について

【青年部】

- ・スペース21
- ・9月に北海道でのキャラバン企画1
- ・10月25日(土)土浦にて全国協議会

【平成会】

- ・東京大会に5名出席
- ・7月19日 愛知県支部・愛青会とコラボ企画に参加予定
- ・9月26日セミナー開催予定
- ・平成会メンバーズカードの作成について

【その他】

- ・組合員 新入会 1社
有限会社立花製本(代表取締役 立花弘子氏)7月より



(三面より)
青木 開催1カ月ぐらい前の段階で参加登録が伸びず、危機感が蔓延してきていました。そういう危機感の中だと、やっぱりみんなが自発的に動き、そうすると「やらされている感」よりも「自らやっている感」が最後になって出てきたかなと思います。
木原 宇野会長は「思考のプロセス」という表現をしたけれど、スピリッツ的なところかもしれないね。責任感とか仲間意識とか。あの時は感動しました。ぜひジャグラの大阪大会でも同じように火事場の力を発揮してください！
まだまだ話は続きますが、紙幅の関係で続きは次号で紹介します。
青年部が考える組合活動のメリットと是何かを語ってもらいます！